

- 問1 幕末の政治的推移において、1850年代の開港から1860年代の倒幕運動へとつながる因果関係について説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2016年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 幕府が朝廷の許可なく開港や条約調印を進めたことに反対派が反発し、それに対する安政の大獄での弾圧が、有力藩による薩長同盟などの倒幕運動を加速させた。 | 2. 薩摩藩と長州藩が同盟を結んだことで幕府が外交権を失い、その結果として日米和親条約が締結され、混乱を鎮めるために安政の大獄が行われた。 | 3. 開港による経済の混乱を防ぐために薩摩藩と長州藩が幕府に安政の大獄を提案し、その後に両藩が主導権を握るために薩長同盟を解消させた。 | 4. 安政の大獄によって幕府の権威が回復したため、諸外国との開港が円滑に進み、最終的には薩摩藩と長州藩が幕府を支えるために薩長同盟を結成した。 |
|--|---|---|---|
- 問2 1840年に発生したアヘン戦争において、清がイギリスに敗北したという知らせは、当時の江戸幕府に大きな衝撃を与えました。これを受けて幕府は、1825年に出された「外国船を見つけ次第攻撃する」という強硬な方針を改め、遭難した外国船に燃料や食料を分け与える方針を決定しました。この1842年に出された法令を何といいますか。 (2016年 高知県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|----------|-----------|----------|
| 1. 日米和親条約 | 2. 薪水給与令 | 3. 異国船打払令 | 4. 武家諸法度 |
|-----------|----------|-----------|----------|
- 問3 19世紀半ば、イギリスは清（中国）との貿易赤字を解消するため、植民地であるインドで生産したアヘンを清へ密輸出する「三角貿易」を行いました。これに反発した清がアヘンの取り締まりを強化したことで勃発した戦争と、その講和条約の記述として正しいものはどれですか。 (2022年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 日清戦争が起こり、講和条約である南京条約によって上海などの港が開かれた。 | 2. アヘン戦争が起こり、講和条約である下関条約によって朝鮮の独立が認められた。 | 3. アヘン戦争が起こり、講和条約である南京条約によってイギリスに香港が割譲された。 | 4. 義和団事件が起こり、講和条約である北京議定書によって外国軍隊の北京駐留が認められた。 |
|---|--|--|---|
- 問4 幕末の開国に伴い、産業革命を経たイギリスから安価な綿織物が大量に輸入されるようになったことで、日本国内の経済や社会にどのような影響を与えましたか。その理由や背景を含めて説明した記述として、最も適切なものを選択してください。 (2021年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. アメリカ合衆国が国内の南北戦争により輸出を停止したため、日本国内では一時的に綿織物が不足し、物価の安定に寄与した。 | 2. イギリス産の綿織物が高級品として普及したため、対抗して国内の綿花生産者が大幅に増産を行い、輸出額が増した。 | 3. 機械生産による安価な製品が流入したことで、手作業に頼っていた日本国内の綿作や綿織物業などの伝統的な産業が大きな打撃を受けた。 | 4. 通商条約によって関税が日本側に有利に設定されていたため、安価な輸入品の増加が国内産業の近代化を促す好機となった。 |
|--|--|---|---|
- 問5 19世紀半ば、ペリー率いるアメリカ艦隊が日本に来航し、開国を要求した主な背景と目的について述べたものとして、最も適切な説明はどれですか。 (2023年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 東南アジアの特産品である香料を、中継地点である日本を通じて安く手に入れるための貿易体制を構築すること | 2. 太平洋横断航路を実現することで、ヨーロッパ諸国よりも有利にアジア貿易を行い、あわせて蒸気船に必要な石炭の補給地を確保すること。 | 3. 日本で豊富に産出される良質な石炭を、エネルギー不足に悩むアメリカ本国へ輸出するための販路を独占すること。 | 4. 江戸幕府に対してキリスト教の布教を公認させ、日本を拠点としてアジア全域に宗教的影響力を広めること。 |
|---|--|---|--|
- 問6 1853年、アメリカ東インド艦隊司令長官のペリーが4隻の軍艦を率いて来航し、江戸幕府に対して正式に開国を求めた地はどこですか。現在の神奈川県横須賀市に位置する場所を選択してください。 (2023年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 1. 下田 | 2. 浦賀 | 3. 長崎 | 4. 函館 |
|-------|-------|-------|-------|
- 問7 一八五三年にペリー率いる「黒船」が浦賀に来航した際、アメリカ側が日本に対して開国を求めた主な背景や理由として、適切な説明はどれですか。 (2022年 滋賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 太平洋での捕鯨船の保護や、中国に向かう蒸気船の燃料となる石炭・食料の補給拠点を確保するため。 | 2. ロシアの南下政策に対抗するため、日本と軍事同盟を締結し、三浦半島にアメリカ海軍の基地を設けるため。 | 3. キリスト教の布教を全国で認めさせることにより、日本の封建的な社会構造をアメリカ流に近代化するため | 4. 日本の良質な金や銀を安く買い入れ、アメリカ国内で深刻化していた経済恐慌を解決するため。 |
|---|--|---|--|
- 問8 独立後のアメリカ合衆国で制定された合衆国憲法において、権力の集中を防ぎ国民の自由を守るために採用された、国家権力を立法・行政・司法の三つに分ける仕組みを何と呼びますか。 (2025年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|----------|----------|---------|
| 1. 三権分立 | 2. 直接民主制 | 3. 議院内閣制 | 4. 社会主義 |
|---------|----------|----------|---------|
- 問9 1853年にアメリカからペリーが来航した際、幕府に突きつけた主な要求の内容と、その後の日本の対応について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2023年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---------------------------------------|--|--|
| 1. キリスト教を日本全国で布教することを認めさせるため、武力による開国を求めた。 | 2. 捕鯨船などのための燃料や食料の補給を目的として、日本に開国を求めた。 | 3. 江戸幕府を倒して新しい天皇中心の政府を作るよう、幕府に対して強く要求した。 | 4. 日本をアメリカの領土の一部とするため、不平等な割譲条約の締結を求めた。 |
|---|---------------------------------------|--|--|
- 問10 1842年に江戸幕府が出した方針に関する記述として、正しいものを次の選択肢から選びなさい。この方針は、隣国の清がイギリスとの戦争に敗れた情報を得た幕府が、それまでの武力行使による対外政策を転換するために出したものです。 (2015年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 海岸に近づく外国船を、事情を問わず見つけ次第砲撃して追い払うよう命じる法令 | 2. 長崎・下田・函館などの港を開き、アメリカなどの諸外国と自由貿易を認める方針 | 3. ロシアの南下に備えて、最上徳内や近藤重蔵らに樺太などの北方領土を調査させる方針 | 4. 日本近海に現れた外国船に対し、燃料である薪や水などを与えて穏やかに退去を命じる法令 |
|--|--|--|--|
- 問11 江戸幕府の最後となった第十五代将軍・徳川慶喜は、倒幕の動きを抑え、新政府において主導権を握るためにある決断を下しました。このとき、徳川慶喜が政権を返上した相手として正しい組織はどこですか。 (2026年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------|-------------|----------|-------|
| 1. 薩摩藩・長州藩の連合軍 | 2. 欧米諸国の外交団 | 3. 明治新政府 | 4. 朝廷 |
|----------------|-------------|----------|-------|
- 問12 19世紀半ばに行われたアヘン戦争の結果、清がイギリスと結んだ条約の内容とその影響について述べた文として、最も適切なものを選択しなさい。 (2023年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------------|--------------------------------------|------------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 下関条約を締結し、清は朝鮮の独立を認め、多額の賠償金を支払った。 | 2. 南京条約を締結し、領事裁判権の容認などの不平等な条件を受け入れた。 | 3. ポーツマス条約を締結し、清は遼東半島の租借権を日本に譲渡した。 | 4. 北京議定書に調印し、清は諸外国の軍隊が北京に駐留することを認めた。 |
|-------------------------------------|--------------------------------------|------------------------------------|--------------------------------------|